

市バス・福祉バスモニタリング の実施状況について

～タブレットを利用した乗降車数調査～

平成30年9月4日

地域活性推進課

1 目的及びスケジュール

【目的】

平成30年度から平成31年度にかけて、市バスの運行に必要となる詳細な路線やバス停留所の位置、ダイヤ等を検討を進めていくこととしています。市民の利用動向にさらに合致した公共交通を構築するためには、市バス・福祉バスの乗降者数等、利用者の動向を詳細に把握する必要があります。そこで、利用実態の分析を行うことを目的として、乗降モニタリング及び乗り込み調査を実施します。

【スケジュール】

※平成30年7月からモニタリング調査を開始

	平成30年度									
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
モニタリング										
報告書				中間報告						最終報告

2 モニタリング調査機器（タブレット）設置状況

タブレットの設置場所については、運転席付近の運転に支障のない場所に設置しています。併せて、車両から電源を確保することとなっており、バッテリー切れの心配は基本的にありません。

【モニタリング調査機器（タブレット）を設置した車両】

- ・市バス車両 11台設置
 - ・稲築福祉バス、碓井福祉バス車両： 3台設置
- 合計14台設置

調査用タブレット



【嘉麻市バス（嘉穂バス）調査機器設置の様子】

調査用タブレット



【稲築福祉バスの調査機器設置の様子】

3 モニタリング調査機器（タブレット）画面

バス停に停車した際に、「乗車人数」と「降車人数」を入力するだけで記録されていきます。GPSと連動しているため、「〇〇バス停」などの入力は不要となっています。基本的にネット回線を通じてリアルタイムで集計されますが、山間部等の電波が届かない地域では、通信可能地域に復帰後、入力データをまとめて送信するようになっています。

【タブレット画面イメージ】

The image shows a tablet screen divided into two main sections: '降車' (Alighting) on the left and '乗車' (Boarding) on the right. Each section has a header, a counter, and a set of buttons. The '降車' section has a blue header and counter, while the '乗車' section has an orange header and counter. Both counters show '1便計 0名'. The buttons are arranged in a grid: a column of -1, -2, -5; a central 0; and a column of +1, +2, +5. In the '降車' section, the +1 button is circled in red. In the '乗車' section, the +2 button is circled in red. Two callout boxes provide instructions: '1人降りたら1回押す' (Press once for 1 person alighting) pointing to the +1 button, and '2人乗ったら1回押す' (Press once for 2 people boarding) pointing to the +2 button.

降車			乗車		
1便計 0名			1便計 0名		
-1		+1	-1		+1
-2	0	+2	-2	0	+2
-5		+5	-5		+5

1人降りたら1回押す

2人乗ったら1回押す